明日をもっとおいしく

meiji

株主のみなさまへ

第2期　中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日

明治ホールディングス株式会社

食品から医薬品まで、
幅広い分野で貢献する
ユニークな企業グループを目指して

明治ホールディングス株式会社
代表取締役社長　佐藤 尚忠（兼 明治製菓(株)代表取締役社長）

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社は、平成22年9月30日をもちまして、第2期事業年度（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の中間期（平成22年4月から9月期）を終了いたしましたので、ここに事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当中間期のわが国経済は、海外景気の下振れ懸念、国内におけるデフレの影響や厳しい雇用情勢に加え、急速に進む円高や輸出の鈍化などにより景気の悪化懸念が高まるなど、弱含む消費者マインドともあわせ依然として厳しい状況で推移しました。

こうした状況下、当明治グループは「2009−2011中期経営計画」の2年目として、主要テーマである「既存事業の強化・拡大」と「統合シナジー早期創出」のための取組みをさらに進めるべく、「市場競争力強化による中核事業の成長」、「新たな需要創造への取組みの推進」、「あらゆるコストの見直しによるグループ経営体質の強化」などを図るための諸施策を積極的に推進しました。

その結果、当中間期における連結売上高は前年同期比1.1%増の5,613億8百万円、営業利益は前年同期比29.3%増の175億46百万円、経常利益は前年同期比42.8%増の191億97百万円、中間純利益は前年同期比73.5%増の93億78百万円となりました。

明治グループは平成21年4月の経営統合以来、「おいしさ・楽しさ」、「健康・安心」をキーワードとするグループ理念のもと、お客さまの生活充実に貢献する企業グループとして、新「 meiji 」ブランドの価値向上と、既存事業の強化ならびに統合シナジーの早期実現をテーマに、幅広い事業分野において積極的に事業を推進してまいりました。また、国内のみならず海外においても存在感あふれる企業グループへと成長するために、新たな価値を創造し続けることこそ私たちの使命と考えております。

こうした考え方のもと、グループ理念の具現化のために長期的視野に立った経営指針である「明治グループ 2020ビジョン」を策定し、この実現に向けて、平成23年4月に持株会社の傘下に食品事業会社（株式会社 明治）と薬品事業会社（Meiji Seika ファルマ 株式会社）を置く新たなグループ経営体制に移行することといたしました。競争環境・事業サイクル・諸規制などが異なる「食品」、「薬品」それぞれの事業アイデンティティを明確化することで、中核事業の成長と統合効果の創出を加速してまいります。

なお、当期の中間配当金につきましては、1株につき金40円と決定させていただきましたので、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新グループ経営体制のもと経営統合効果の最大化と早期実現によりさらなる企業価値向上を目指します。

国内総人口の減少と少子･高齢化、グローバル化の進展･新興国の成長など、経営を取り巻く環境は絶えず変化し続けております。今後10年を見通すなかで、長期的視野に立った経営指針「明治グループ 2020ビジョン」を策定し、グループが進むべき方向を示しました。
実現に向けた第一歩として、ホールディングス傘下に食品事業会社と薬品事業会社を置く新たなグループ経営体制に移行します。

新グループ経営体制のねらいと設計

ねらい

競争環境･事業サイクル･諸規制などが異なる「食品事業」、「薬品事業」を2つの事業会社に再編して、それぞれの事業アイデンティティを明確化し、中核事業の成長と統合効果の創出をより一層加速させる。

設計

2009年4月1日（現在の体制）

- 明治ホールディングス株式会社
  - 明治製菓株式会社
  - 明治乳業株式会社

2011年4月1日時点（新体制）

- 明治ホールディングス株式会社
  - 食品事業会社：株式会社 明治
    - 研究本部
    - 菓子ユニット：菓子、アイスクリーム、スイーツなど
    - 乳製品ユニット：牛乳、ヨーグルト、チーズ、クリームなど
    - 健康栄養ユニット：スポーツ栄養、OTC、機能性食品、コナミルク、流動食など
    - 海外ユニット：乳製品、菓子、健康栄養事業分野などの海外事業推進
  - 薬品事業会社：Meiji Seika ファルマ株式会社
    - 医療用医薬品事業：感染症領域、中枢神経系領域、ジェネリック医薬品
    - 生物産業事業：農薬、動物薬

「食と健康」のプロフェッショナルとして、常に一歩先を行く価値を創り続けます。

グループ理念

私たちの使命は、「おいしさ・楽しさ」の世界を拡げ、
「健康・安心」への期待に応えてゆくこと。

私たちの願いは、「お客さまの気持ち」に寄り添い、
日々の「生活充実」に貢献すること。

私たち明治グループは、「食と健康」のプロフェッショナルとして、
常に一歩先を行く価値を創り続けます。

「明治グループ　2020ビジョン」で目指す企業グループ像

赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆる年齢層のお客さまへ、
食のおいしさ・楽しさや、心身両面での健康価値の提供を通して、
お客さまの生活充実に貢献していく企業グループ

2020年度のゴールイメージ（数値目標）

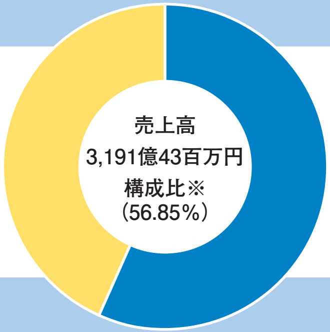
売上高	営業利益率
1兆5,000億円	5%以上

【参考:2009年度実績】
売上高:1兆1,066億円
営業利益:287億円(2.6%)

「明治グループ 2020ビジョン」コンセプトイメージ図

私たちは、お客さまの生活充実への貢献に向け、お客さま視点による「こども すこやか」「おとな はつらつ」「みんな わくわく」の3つのキーワードを掲げ、グループ全従業員が一丸となり、事業を展開していきます。

乳製品事業



当事業には、市乳(牛乳類・ヨーグルト等)、粉乳(コナミルク等)、練乳、バター、チーズ、アイスクリーム、飲料、栄養食品(流動食・「ヴァーム」等)、畜産品等の製造・販売が含まれております。

乳業界では、記録的な猛暑もあってアイスクリーム市場が活性化したものの、飲用牛乳の消費低迷は依然として継続、しかも低価格競争による販売促進費の増加など全体として厳しい状況で推移しました。

このような状況下、売上高は、「明治おいしい牛乳」が前年同期を上回ったものの、その他の牛乳類、粉乳、飲料などが苦戦しました。一方、「明治エッセルスーパーカップ」シリーズを中心としたアイスクリームをはじめ、チーズ、栄養食品などが好調に推移し、セグメント全体では前年同期を上回りました。

営業利益は原材料コストの低減などがあったものの、販売競争に対応するための販売促進費の増加などにより、前年同期をわずかに下回りました。

この結果、連結売上高は3,191億43百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は100億58百万円(同0.5%減)となりました。

明治おいしい牛乳
(1000ml/500ml/200ml/125ml×3)

明治エッセル
スーパーカップ
超バニラ

明治北海道十勝
スマートチーズ

明治
ブルガリアヨーグルト
LB81 (450g)各種

ピッツァ&ピッツァ
2枚入

明治ほほえみ
らくらくキューブ

明治プロビオ
ヨーグルト LG21

明治ブルガリア のむヨーグルトプレーン LB81

1本100mlの飲みきりタイプが4本入ったのむヨーグルトです。消費者庁より「特定保健用食品」を許可されています。毎日の健康習慣として、1日1本を目安に、朝だけでなく夜などのシーンでも、おいしく続けられます。

宅配「明治ミルクで元気」

1本で1日分のカルシウム700mgと1日分の鉄分7.5mg（栄養素等表示基準値より）を摂ることができ、更にビタミンD、葉酸を配合し栄養機能を高めた低脂肪タイプ（五訂普通牛乳比）の商品です。ミルクのコクとまろやかな風味で1日に必要な栄養素がしっかり摂れる、毎日の健康習慣にぴったりの商品です。

明治エッセル スーパーカップ メープルクッキー

甘くて香ばしいメープルにしっとりクッキーを組み合わせたおいしさと、エッセルならではのコクとキレのある味わいの商品です。たっぷり大容量200mlアイスクリームをお手ごろ価格でお楽しみいただけます。

欧風チーズカレー

牛肉とたまねぎを炒め、デュクセルソースと北海道産生クリーム・ミニペンネ・スパイスを加えて仕上げたカップの惣菜です。十勝産ゴーダチーズにパセリを合わせたミックスチーズと、チーズソースをトッピングしました。

新商品のご紹介

明治一番搾りべに花ソフトカロリー1/2

一番搾りべに花油を使用した、風味豊かなスプレッドです。カロリー・脂肪分はソフトタイプマーガリン（五訂増補日本食品標準成分表）の1/2、コレステロールはゼロです。

明治グリルスライスチーズ　8枚入

風味が濃厚なチェダーチーズを原料に使用した、ハンバーグなどのお肉料理と相性のいいスライスチーズです。

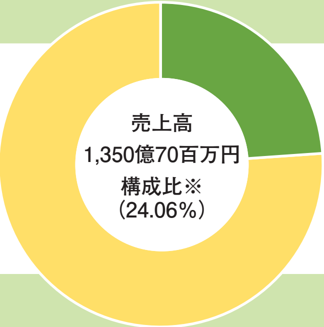
明治スイーツスプレッド アップルシナモン&マーガリン

カフェのスイーツをおもわせるこだわりの「アップルシナモンソース」と「マーガリン」がひとつになった、使いきりタイプのスプレッドです。

明治ベビーフード 赤ちゃん村 野菜メニューのもと ほうれん草とにんじん

新鮮な野菜をフリーズドライ（凍結乾燥）製法により、すみやかに乾燥させた製品なので、お湯で溶かして離乳食に入れるだけで、手作り離乳食を簡単に野菜メニューにできます。キューブタイプなので、計量の手間がいりません。ジッパー付き容器入りなので、保存には衛生的で、持ち運びにも便利です。

菓子・健康事業



当事業には、菓子、砂糖および糖化穀粉等、健康食品（「アミノコラーゲン」等）、一般用医薬品（「イソジン」等）等の製造・販売、スポーツクラブの経営等が含まれております。

菓子業界は、当社主力の5カテゴリー（チョコレート・ガム・キャンデー・ビスケット・スナック）の市場が、引続き前年を下回ったことに加え、猛暑の影響を強く受けるなど、厳しい環境となりました。また、不安定な原材料価格の動向が収益に大きな影響を与える状況が続いています。

このような状況下、売上高は、菓子では営業活動を強化した板チョコ群や新商品が寄与したガム群は売上を伸ばしましたが、全体では前年同期を下回りました。健康では「アミノコラーゲン」、「ザバス」の伸長に加え、「パーフェクトプラス」が好調に推移したものの、前年の新型インフルエンザ流行の反動による「イソジン」群の大幅な減売を補いきれず、前年同期を下回りました。

営業利益は、売上の低迷や原材料価格高騰の影響を受けたものの、生産の効率化や販売費の削減を図ったことにより、前年同期を上回りました。

この結果、連結売上高は1,350億70百万円（前年同期比1.4％減）、営業利益は1億48百万円（35.8％増）となりました。

新商品のご紹介

MINTZ（ミンツ）

本年4月に、結晶キシリトールミントとミントリーフのダブルのミントによる〝さわやかな味わいと香り〟を実現した、本格ミントガム「MINTZ」を発売しました。

ザ・コーン

独自製法によるザクッとした歯ごたえと、とうもろこしの香ばしい味わいが特徴のコーンスナックです。本年7月にバター味とカレー味の2品を発売しました。

クランチビスケットチョコレート

サクサクの食感に焼き上げたココア練り込みのビスケットをコクのあるチョコレートにたっぷりと混ぜ込みました。クランチビスケットとチョコレートの口溶けが楽しめます。

クリーミーマシュマロチョコレート

たっぷり入った弾力食感のつぶつぶマシュマロをクリーミーなチョコレートにぎっしり混ぜ込みました。マシュマロがチョコレートと溶け合う新しいおいしさが楽しめます。

ガルボボール

一口サイズのボール状に焼き上げた口溶けの良い焼き菓子に、明治独自の含浸技術でたっぷりチョコをしみ込ませた新しいおいしさです。

チップチョップ香ばしナッツ

サクサクで香ばしい極薄のスナックでナッツチョコを挟み込んだ一口サイズのチョコチップス。チップスにまぶした塩と香ばしいナッツが絶妙のコンビネーションです。

コクがおいしいココア濃縮タイプ

コクミルブランドから、牛乳に溶かして飲む濃縮タイプのココアが登場。コクのあるなめらかさは液状ならではのおいしさです。

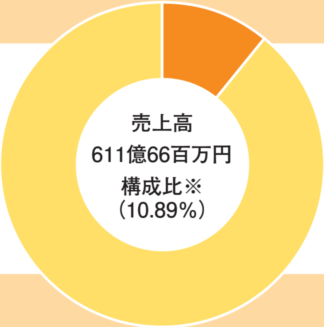
ザバス ピットインリキッド・ザバス ピットインゼリーバー

携帯性に優れ、高エネルギーが補給できる「ピットイン」。ランナーから高い支持を得ているリキッドはデザインを一新、ゼリーバーも加わりました。

パーフェクトプラス　バニラサブレ・パーフェクトプラス　ショコラサブレ

「おいしく小腹を満たしたいけど、カロリーは控えたい」という方のために、パーフェクトプラスから砂糖不使用の栄養調整食品2品が新登場です。

医薬品事業



当事業には、医療用医薬品および農薬・動物薬等の製造・販売が含まれております。

薬品業界は、医療用医薬品においては新薬価制度の導入や医療費抑制策の推進、また、農薬・動物薬においては申請・登録審査基準の厳格化など規制・指導が強化され、引続き厳しい環境が続いています。

このような状況下、売上高は、引続き抗菌薬「メイアクト」が伸長、ジェネリック医薬品も好調に推移したことに加え、昨年8、9月に相次いで発売した新薬2製品（「オラペネム」、「リフレックス」）の上乗せにより、薬価改定の影響はあったものの前年同期を上回りました。

営業利益は、売上増による限界利益増、品種構成の改善、販売費および研究開発費の支出減等により、前年同期を大幅に上回りました。

この結果、連結売上高は611億66百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は52億12百万円（同138.4%増）となりました。

リフレックス錠

デプロメール錠

メイアクトMS錠・
メイアクトMS小児用細粒

オラペネム
小児用細粒

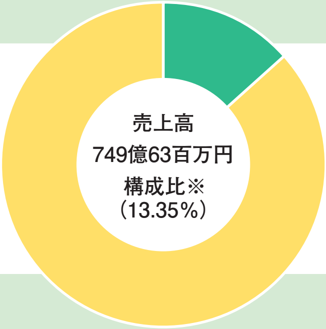
アムロジピン錠
「明治」

オリゼメート
粒剤

点滴静注用バンコマイシン「MEEK」・
バンコマイシン散「MEEK」

パナメクチン
チュアブルP

サービス他事業



当事業には、不動産、飼料、運送、倉庫、機械技術サービス、外食、保険代理店、リース等の事業が含まれております。

売上高、営業利益ともに、物流子会社の好調に加え、子会社の新規連結により前年同期を上回りました。

この結果、連結売上高は749億63百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は22億4百万円（同29.1%増）となりました。

概況の総括

以上の結果、当中間期における連結売上高は5,613億8百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は175億46百万円（同29.3%増）、経常利益は191億97百万円（同42.8%増）、中間純利益は93億78百万円（前年同期比73.5%増）となりました。
※事業別の売上高および営業利益は連結消去前の金額を用いています。

売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
5,613億8百万円	175億46百万円	191億97百万円	93億78百万円

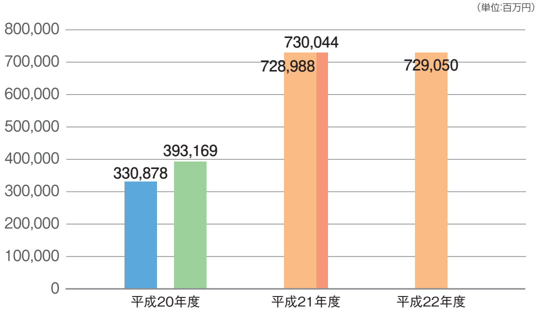
中間連結貸借対照表（要旨）

（単位:百万円）

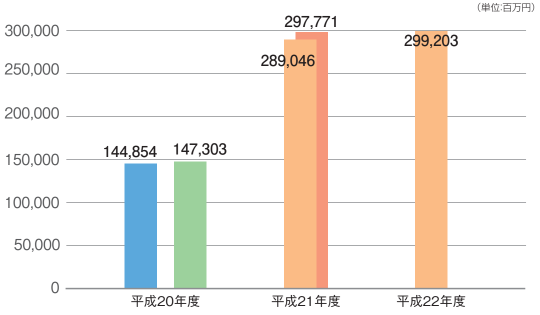
	前中間期 （平成21年9月30日現在）	当中間期 （平成22年9月30日現在）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,824	14,366
受取手形及び売掛金	152,435	153,593
たな卸資産	107,109	112,829
その他	31,830	31,088
貸倒引当金	△342	△358
流動資産合計	306,857	311,518
固定資産		
有形固定資産	334,833	331,677
無形固定資産	10,566	9,473
投資その他の資産	76,731	76,380
固定資産合計	422,131	417,531
資産合計	728,988	729,050
負債の部		
流動負債	313,703	301,711
固定負債	126,238	128,136
負債合計	439,942	429,847
純資産の部		
株主資本	281,368	294,580
評価・換算差額等	△27	△3,129
少数株主持分	7,705	7,751
純資産合計	289,046	299,203
負債純資産合計	728,988	729,050

明治製菓／通期　明治乳業／通期
明治ホールディングス／中間　通期

総資産



純資産



1株当たり中間（当期）純利益

（単位:円）

	平成20年度		平成21年度		平成22年度	
	中間	通期	中間	通期	中間	通期(見通し)
明治製菓	△0.78	6.74	−	−	−	−
明治乳業	15.87	18.06	−	−	−	−
明治HD	−	−	73.42	177.73	127.26	203.55

（注）ホールディングス化に伴い、前中間期より単元株式数の変更を行っております。

中間連結損益計算書（要旨）

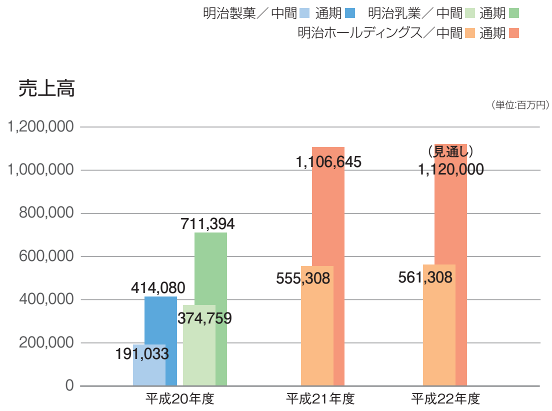
（単位:百万円）

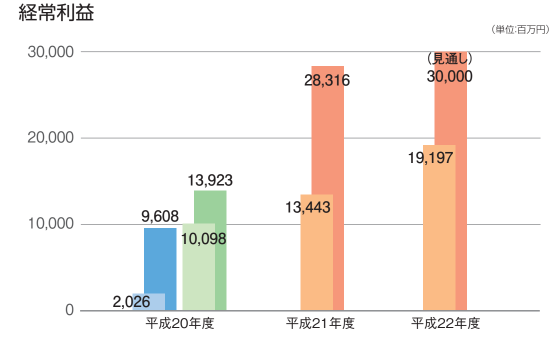
	前中間期 (自 平成21年4月１日 至 平成21年9月30日)	当中間期 (自 平成22年4月１日 至 平成22年9月30日)
売上高	555,308	561,308
売上原価	372,254	370,058
売上総利益	183,053	191,250
販売費及び一般管理費	169,480	173,703
営業利益	13,573	17,546
営業外収益	2,217	4,224
営業外費用	2,347	2,572
経常利益	13,443	19,197
特別利益	227	346
特別損失	2,152	2,115
税金等調整前中間純利益	11,518	17,428
法人税等	5,937	7,854
少数株主利益	173	195
中間純利益	5,406	9,378

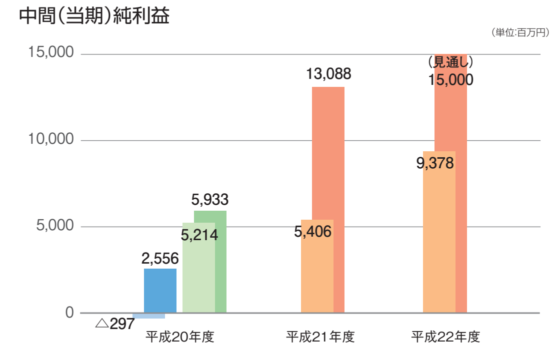
中間連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位:百万円）

	前中間期 (自 平成21年4月１日 至 平成21年9月30日)	当中間期 (自 平成22年4月１日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,328	29,843
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,618	△18,964
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,723	△12,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	76	△162
現金及び現金同等物の増減額	1,063	△1,787
現金及び現金同等物の期首残高	14,429	16,061
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	228	21
現金及び現金同等物の中間期末残高	15,721	14,295







TOPICS 1

ブランドを活かしたコラボ商品を続々発表!

明治グループでは、本年8月下旬より「meijiブランド」を活かした、新たな試みをはじめました。みなさまにご愛用いただいているさまざまな商品が、グループ内のコラボレーションにより、これまでにない「おいしさ・楽しさ」を提供しています。今後も続々と登場するコラボレーション商品にご期待ください。

明治ストロベリーチョコレート
アイスコーン 〈ノベルティ〉〈マルチ〉

オリジナル

まるごと野菜
北海道野菜の
クリーミーグラタン

オリジナル

チェルシー
バタースカッチテイスト・
ヨーグルトスカッチテイスト

オリジナル

「明治おいしい牛乳」×「コクがおいしいミルクココア」

「明治おいしい牛乳」と「コクがおいしいミルクココア(袋)」がパッケージでお互いの商品を宣伝しました。

TOPICS 2

株主優待品寄贈選択制度のご紹介および実施のご報告

【寄贈結果のご報告】

当社では、株主さまのご意志により優待品の送付に代えて同等品を福祉団体へ寄贈いただくことも選択できる「株主優待品寄贈選択制度」を設けております。

この制度にご賛同いただきました株主さまの優待品とそのお気持ちを当社の気持ちとあわせて福祉団体へ寄贈させていただいております。

今年度は、全国の障がいのある児童の支援団体等、全国158団体へ特定非営利活動法人日本NPOセンターを通じて寄贈を実施いたしました。

＜今年度実績＞

寄贈にご賛同いただきました株主さま: 1,510名

株主さまから寄贈いただきました相当金額: 473万9,000円

※当社からもほぼ同額相当分を寄贈し、合計948万円相当分の寄贈をしております。

株主のみなさまのご協力に感謝申し上げます。

【寄贈先訪問レポートvol.1】

～社会福祉法人 宇治東福祉会
ワークセンター宇治作業所～
(京都府)

たくさんのお菓子に囲まれての記念撮影です。

【寄贈先訪問レポートvol.2】

～特定非営利活動法人
コミュニティリーダー
ひゅーるぽん～(広島県)

お礼のことばとお礼状をいただきました。

会社概要 （平成22年9月30日現在）

商号	明治ホールディングス株式会社 （英文名：Meiji Holdings Co., Ltd.）
事業内容	菓子、牛乳、乳製品、薬品等の製造、販売等を行う 子会社等の経営管理およびそれに付帯または関連する事業
本社所在地	東京都中央区京橋二丁目4番16号
代表取締役社長	佐藤 尚忠
設立	2009年4月1日
資本金	300億円
グループ従業員数	14,999名

役員紹介 （平成22年9月30日現在）

代表取締役社長	佐藤　尚忠	（兼 明治製菓（株）代表取締役社長）
代表取締役副社長	浅野 茂太郎	（兼 明治乳業（株）代表取締役社長）
取締役執行役員	髙橋　昭男	（兼 明治製菓（株）代表取締役副社長）
取締役執行役員	永田　毅	（兼 明治乳業（株）取締役専務執行役員）
取締役	田中　要	（兼 明治乳業（株）代表取締役副社長）
取締役	松尾　正彦	（兼 明治製菓（株）取締役専務執行役員）
取締役	塚西　治信	（兼 明治製菓（株）取締役専務執行役員）
取締役	井原　昇一	（兼 明治乳業（株）取締役専務執行役員）
取締役（社外）	矢嶋　英敏	
取締役（社外）	佐貫　葉子	
常任監査役（常勤）	川島 浩一郎	
監査役（常勤）	森島 知夏男	（兼 明治製菓（株）監査役（常勤））
監査役（社外）	宮本　晶二	（兼 明治乳業（株）監査役（社外））
監査役（社外）	山口　健一	（兼 明治製菓（株）監査役（社外））
執行役員	髙橋　秀樹	（兼 明治製菓（株）取締役常務執行役員）
執行役員	平原　高志	（兼 明治乳業（株）執行役員）
執行役員	谷中　孝章	（兼 明治乳業（株）執行役員）
執行役員	左座　理郎	（兼 明治製菓（株）執行役員）

グループ会社 （平成22年9月30日現在）

グループ全体	100社	**連結子会社**	52社
国内	73社	**非連結子会社**	30社
海外	27社	**関連会社**	18社

■ **発行可能株式総数**　280,000,000株

■ **発行済株式の総数**　76,341,700株

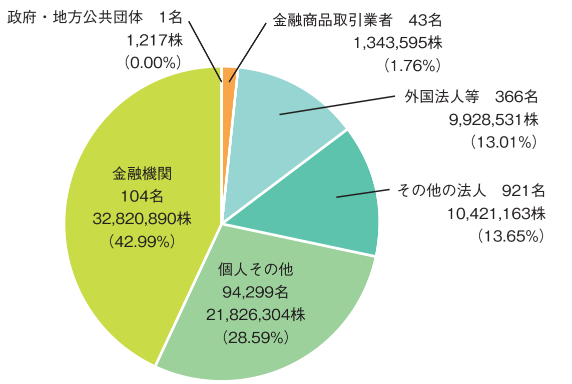
■ **株主数**　95,734名

■ **大株主**　（上位10名）

株主名	所有株式数（千株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3,663	4.80
株式会社みずほ銀行	3,582	4.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3,329	4.36
日本生命保険相互会社	2,642	3.46
第一生命保険株式会社	1,616	2.12
株式会社りそな銀行	1,523	2.00
明治ホールディングス従業員持株会	1,510	1.98
農林中央金庫	1,446	1.89
東京海上日動火災保険株式会社	1,184	1.55
富国生命保険相互会社	1,070	1.40

（注）上記の他に、明治製菓株式会社が実質で1,584千株（持株比率2.08%）保有しております。

■ **所有者別**



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末配当　3月31日 中間配当　9月30日 ※別途定める場合は、予め公告します。
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL　http://www.meiji.com/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 なお、会社法第440条第4項の規定により、決算公告は行いません。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137–8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話　0120–232–711（フリーダイヤル）

（ご注意）
1.株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。

株主さまへのご優待

1.対象となる株主さま
毎年3月31日現在の明治ホールディングス株式100株以上ご所有の株主さま

2.優待の内容
ご所有株式数に応じて、以下の優待品を毎年10月末頃にお届けいたします。

ご所有株式数	優待品	
100株以上	明治製菓・明治乳業製品詰合せ	2,000円相当
300株以上	明治製菓・明治乳業製品詰合せ	3,500円相当
500株以上	明治製菓・明治乳業製品詰合せ	5,000円相当

※株主さまのご意志により、優待品の送付に代えて同等品を福祉団体へ寄贈いただくことも選択できる株主優待品の寄贈選択制度も設けております。

3,500円相当の優待品の例です。

ホームページのご紹介　http://www.meiji.com/

明治ホールディングス株式会社のホームページでは、企業情報をはじめ、研究開発、CSRの取組みやグループ各社の商品情報などさまざまな情報を掲載しております。

ブランドマークについて

meiji

【書体】
ふくよかで柔らかな書体、親しみのある小文字を使用することによって、「食と健康」の企業グループらしい明るさと、お客さま一人ひとりとのあたたかいつながりを表現しました。「iji」の造形には、人びとが寄り添い支えあう姿を託しています。
【色】
ブランドカラーはレッド。躍動感や生命の喜びを感じさせる色であり、人が生まれて最初に知る色でもあります。赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆる世代の人びとのそばにあって、愛され続ける存在でありたいという思いを表現しました。

FSC
www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC™ C013080
VEGETABLE OIL INK